

機械の導入前に、 畑の作り方から変える！

沖縄型スマート農業を学ぶ「スマートハルサー研修」

参加無料

AI講習あり



機械を導入したのに、思ったほど効果が出なかった—

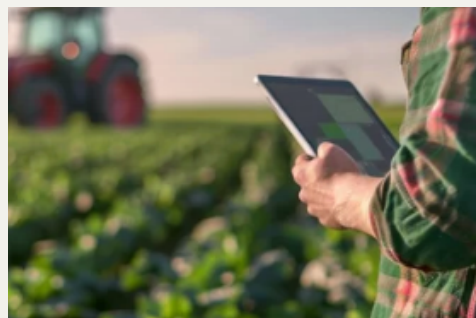
その原因のひとつは、畑の作り方が機械に合っていないからかもしれません。機械を選ぶ前に、まず圃場の設計から見直す。この研修は、その考え方を県内/県外の先進農家から学び、自分の経営に落とし込む実践講座です。

✓ 研修期間 2026年 7月～11月

※県内合宿やオンライン視察などを組み合わせた、農作業に影響の出にくいカリキュラムを目指しています

✓ 定員30名

対象：沖縄県内の農業経営者・関連団体職員等 ※選考あり



この研修で得られる4つのメリット

県内の最新事例を 現場で

県内の露地栽培、施設栽培等、先進的なスマート農業導入現場を見て学べる。



県外の先進農家を 生中継で

県外の先進農家の現場をリアルタイム配信。全国の事例に触れ、その場で疑問は質問可能。



AI経営診断ツールを 無償で

AIを使った経営診断ツールを無償で使えるほか、AIを活用した農業経営についても学べる。



申請書の書き方まで 講義内で指導

補助金（生産方式変更）の申請書などを、修了時には自分の手で書いて提出できる状態に。



スマート農業機器を提供するメーカー各社による製品説明の機会も！

【JA/指導関係者の方へ】

生産者さんへの営農支援に繋がる具体的な知識が学べるだけでなく、補助金申請などAIを活用した業務省力化も学べます

運営

株式会社
マイファーム



応募

6月30日(火)
まで

※詳細は裏面へ



カリキュラム表

※一部調整のため、変更の可能性あり

	日程	研修時間	開催方法	タイトル	内容	
7月	合宿①	14日	9:00-12:00	対面	オリエンテーション 沖縄県農業研究センター施設見学・講義	研修ゴールの共有及び、農研センターにて沖縄の土壌・品目・気候に合った最新知見を学ぶ
		14日	13:00-16:00	対面	クボタファーム糸満(糸満市)	トマトの施設栽培・自動追従型運搬機の活用等を現地で学び、その後自分の経営への活用イメージを深める。
		15日	9:00-12:00	対面	野原ファーム(八重瀬町) 自動操舵・畝間拡大	県内認定第1号を視察 自動操舵・畝間拡大の圃場再設計などの知見を学ぶ
	単発	28日	13:00-16:00	オンライン	自社現状分析・課題マッピングワーク	視察知見をもとに自社の作業工程・土壌・圃場・経営課題を整理し、申請書作成の基礎データを構造化
8月	合宿②	4日	9:00-12:00	対面	沖縄県農業大学校(宜野座村) 施設・栽培方法など先行事例紹介	施設実習圃場を見学・メーカーから導入機材の概要・活用方法について解説実施、ドローン等の先行事例を座学で紹介
		4日	13:00-15:00	対面	全国事例研修① 県外の最新取り組み事例を生中継で学ぶ	現場実装事例の視察。施設栽培における環境制御システムの導入事例を学ぶ。トマト部会(大分県)予定
		5日	9:00-12:00	対面	KSファーム(名護市) R200活用事例・バイン圃場設計	農業用無人車 R200活用・バイン圃場設計など、機械に合わせた圃場再設計の実例を確認。
	単発	18日	13:00-15:00	オンライン	全国事例研修② 県外の最新取り組み事例を生中継で学ぶ	JA部会単位でデータ収集→分析→栽培改善→出荷改善の実践事例を学ぶ。きゅうり部会(愛知県)予定
		25日	13:00-15:00	オンライン	全国事例研修③ 県外の最新取り組み事例を生中継で学ぶ	オンライン生中継で異品目・異地域の実例を学ぶ。今後の申請書作成などに活かす知識を得る。
9月	8日	9:00-13:00	対面	品目別(ゴーヤー、オクラ等)の 圃場設計等	読谷村(ゴーヤー/環境モニタリング)、うるま市(オクラ/R200)などを訪問し、品目別の生産方式変更を学ぶ。	
	15日	13:00-18:00	対面	スマート農業メーカー各社による講義 製品紹介	スマート農業の機器を提供する多社メーカーを招聘。自社営農にどのような技術を取り入れ、生産方式をどう変えていくかを検討するための情報収集を行う	
	29日	9:00-15:00	対面 オンライン	経営数値への落とし込み/AI研修 (コスト・労働時間・収益)	集中研修1日目。「農業経営にどうスマート農業を取り入れるか」を自社データから積み上げる演習。AI研修も実施。	
	30日	9:00-15:00	対面 オンライン	栽培計画への落とし込み/AI研修 (品目別・圃場別の変更設計)	集中研修2日目。「現状」と「変更後」を対比整理し、機械・資材導入スケジュールを設計。	
	10月	13日	13:00-15:00	オンライン	補助制度・融資制度の活用	融資や補助事業の制度全体像の知識や、関連補助金の申請方法と自社計画との組合せを学ぶ。
20日	13:00-15:00	オンライン	グループワーク・申請書チェック	これまでの集中研修で作成した事業計画書・申請書などをグループで相互点検を行うワーク。		
27日	9:00-16:00	対面	実施計画の統合・整合確認と申請書化 集中対面ワーク	これまでの集中講義の内容を申請書フォーマットへ統合。今後補助金申請を行う際に実際に使える成果物を完成させる		
11月	10日	9:00-17:00	対面	最終アクションプラン発表 申請書草案の審査・研修総括	最終版の申請書草案を発表。外部専門家・メーカー担当者を含む審査委員から評価・フィードバックを受ける。	

参加条件

- 沖縄県内で農業に従事していること。または、農業・肥料・IT・農業機械・流通に関係する企業に所属していること。
- 農業界に係る領域の業務に、5年以上従事していることが望ましい。(1社での経験に限らず、複数社合計での実務年数)ただし、意識面および実務面において、実務経験5年に相当する経験があると判断できる場合においては年数不問とする。
- 自身のみならず、地域としての沖縄のスマート農業の推進および生産方式革新の普及に意欲があること。
- カリキュラムへの原則全回出席。(必須事項)

※参加条件についてご相談のある方は別途ご連絡ください

選考結果通知

2026年 7月上旬

応募締め切り

2026年 6月30日(火) 23:59まで

募集概要

- 研修期間 2026年7月~2026年11月
- 定員 30名程度
- ※受講条件、応募フォームに記載されている内容にて審査を実施します
- 参加費用 無料

参加者への補助

離島受講生の本島講義へ参加するための旅費
※私用目的の交通費等は受講者負担となります。

応募方法

エントリーフォームより応募 [>](#)



メイン講師



(株)マイファーム専務取締役

浪越 隆雅 氏

マイファーム創業期から、体験農園事業、農業教育事業、流通事業、生産・コンサルティング事業等、各事業の立ち上げに寄与し、農業における、「趣味→職業」の領域まで、幅広く関わる。現在は、その経験を活かしながら企業や行政を対象とした農業アドバイザー業務を実施。農業分野だけでなく、地域活性の領域でも取り組みを進めている。将来の夢は、世界の農に新しい常識をもたらすこと。

お問い合わせ

株式会社
マイファーム



TEL:050-5527-2841 (担当:前城/四宮)



MAIL:smart_nougyou@myfarm.co.jp